

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 16 日

事務事業名			エコショップ制度実施事業				事業区分		担当		
							新規/継続	継続	事務事業No.	050801000223	
							単独/補助	単独		030301	
総合計画の施策名			0508		生活環境の保全				所属課		生活環境課
政策 体系	政策名		05		快適な暮らしのまちづくり				課長名		
	施策名		08		生活環境の保全				グループ		環境公害対策G
	手段名		01		①環境問題の意識向上				担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (平成8年度～)	
		01	04	02	02	01	00	ごみ減量化対策事業		→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠											

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	【事務事業の内容】 環境にやさしい商品の販売やごみ減量化・リサイクル活動に積極的に取り組んでいる小売店舗を対象に広く市民にPRすることにより、市民と事業者の連携のもと、循環型社会の構築に向け、環境にやさしいライフスタイルをめざす。	【担当者が行う業務の手順】 エコショップの認定状況の報告 エコショップの認定更新

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
エコショップ制度についての啓発、エコショップの認定作業	啓発活動回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市内の事業者 等	市内の事業所数	件	2,050.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
小売店舗のリサイクル活動及びごみ減量化、またエコ活動について啓発する。	新規認定店舗数	件	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
	認定店舗総数	件	5.00	5.00	6.00	7.00	8.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

			30年度	01年度	02年度	期間限定総投入量	
			(実績)	(実績)	(計画)		
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人		

01年度事業費 実績(千円)

02年度事業費 予算(千円)

事業費の内訳	01年度事業費 実績(千円)	02年度事業費 予算(千円)
合計	0	0

事務事業名	エコショップ制度実施事業	事務事業No.	50801000223	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 環境にやさしい商品の販売やごみの減量化、リサイクルを推進する店舗を行政が認定、支援することにより、事業者の環境配慮を喚起し、その取り組みを拡充することを目的とし、平成8年11月より実施されている。 地球温暖化をはじめ、環境への対応はここ数年注目を集めているが、エコショップ制度に関しては、登録する店舗等は少ない状況にある。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特に意見はない。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 第2次総合計画の「快適で潤いのある生活環境づくり」に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である エコ事業については、意識啓発等の必要な事業であるため、市が行うことは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 啓発を行っても、事業所にとってのメリットが少ないため、協力を得られないことが多い。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 総合計画での基本事業を推進できなくなるので、影響がある。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業なし。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費なし。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の全事業所を対象としているため公平である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	エコショップの協力事業者のメリットが少ないため、新規事業所を増やすことができない																											
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 ・エコショップ制度の周知回数を増やす		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下								
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上		○																										
	維持																												
低下																													
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ⑧																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>